

## 入札公告（建設工事）

次のとおり一般競争入札（政府調達協定対象外）に付します。

平成30年10月12日

支出負担行為担当官  
熊本防衛支局長 杉山 真人

### 1 工事概要

- (1) 工事名 奄美（30）車両整備場等（奄美地区）新設電気その他工事
- (2) 工事場所 鹿児島県奄美市
- (3) 工事内容 本工事は、以下の工事等を行うものである。
  - ・ 車両整備場新設（鉄筋コンクリート造平屋建て 延べ面積約1,500 m<sup>2</sup>）に係る
    - 【電気】電灯、動力、幹線、防災、受変電、中央監視制御、構内配電線路設備等 一式
    - 【通信】構内交換・構内情報通信網、拡声、テレビ共同受信、情報表示、誘導支援設備 一式
  - ・ 貯蔵庫B新設（鉄筋コンクリート造平屋建て 延べ面積約120m<sup>2</sup>）に係る
    - 【電気】電灯、幹線、自動警報設備、雷保護、接地設備等 一式
    - 【通信】構内通信線路設備 一式

（共通）  
連れ越し費 一式

※配置予定技術者の配置は、平成31年2月からとする。
- (4) 工期 平成32年4月30日まで。  
ただし、貯蔵庫B新設は平成32年3月15日まで。
- (5) 本工事は、入札時に「企業・技術者の施工実績及び工事成績等」を受け付け、価格と価格以外の要素を総合的に評価して落札者を決定する総合評価落札方式のうち、品質確保のための施工体制及びその他の施工体制の確保状況を確認し、施工内容を確実に実現できるかどうかについて審査し、評価を行う施工体制確認型総合評価落札方式（施工能力評価型）の試行対象工事である。また、鹿児島県が発注する工事の施工実績及び施工成績を評価対象とする試行対象工事である。  
なお、「企業の技術力」の評価にあたっては、地域精通度等を含めて評価を行う対象工事である。
- (6) 本工事は、発注者が競争参加希望者に見積の提出を求め、ヒアリングを通じて見積の妥当性を確認し、妥当性が確認できた見積を積算価格に反映させるものである。  
見積の提出期限までに

- ア 車両整備場新設（鉄筋コンクリート造平屋建て 延べ面積約1,500㎡）に係る
- 【電気】
    - ・電灯、動力、幹線、防災、受変電、中央監視制御、構内配電線路設備工事（処分費除く）
  - 【通信】
    - ・構内交換・構内情報通信網、拡声、テレビ共同受信、情報表示、誘導支援設備工事（処分費除く）
- イ 貯蔵庫B新設（鉄筋コンクリート造平屋建て 延べ面積約120㎡）に係る
- 【電気】
    - ・電灯、幹線、自動警報設備、雷保護、接地設備工事（処分費を除く）
  - 【通信】
    - ・構内通信線路設備工事（処分費を除く）
- に対する直接工事費（当該工事に必要な仮設費含む）について記載した見積（以下「見積」という。）を提出するものとする（詳細は入札説明書による。）。
- (7) 本工事では、見積の提出後、競争参加希望者の責任者、配置予定の技術者等からヒアリングを行い、見積の妥当性を確認するものとする。
- (8) 本工事は、資料提出及び入札を電子入札システムにより行う工事である。ただし、電子入札システムにより難しいものは、発注者の承諾を得て紙入札方式に代えるものとする。
- なお、紙入札方式の承諾に関しては熊本防衛支局総務課に紙入札方式参加承諾願を提出するものとする。
- (9) 本工事は、工事費内訳明細書の提出を義務付ける工事である。

## 2 競争参加資格

- (1) 予算決算及び会計令（昭和22年勅令第165号。以下「予決令」という。）第70条及び第71条の規定に該当しない者であること。
- (2) 防衛省における平成29・30年度一般競争（指名競争）参加資格（以下「防衛省参加」資格」という。）のうち、「電気工事」で級別の格付を受け、熊本防衛支局に競争参加を希望している（会社更生法（平成14年法律第154号）に基づき更生手続開始の申立てがなされている者又は民事再生法（平成11年法律第225号）に基づき再生手続開始の申立てがなされている者については、手続開始の決定後、再度級別の格付を受けていること。）。
- (3) 会社更生法に基づく更生手続開始の申立てがなされている者又は民事再生法に基づき再生手続開始の申立てがなされている者（(2)の再生級別の格付けを受けた者を除く。）でないこと。
- (4) 防衛省が算定した「電気工事」に係る総合審査数値（資格審査結果通知書の記3の等級・総合審査数値欄の点数及び等級）が「A」である。
- (5) 平成15年度以降入札公告日までに、元請けとして完成・引渡しを完了した国内における国、特殊法人等及び地方公共団体が発注した工事のうち、鉄骨造、鉄筋コンクリート造又は鉄骨鉄筋コンクリート造で、延べ面積900㎡以上/棟の新設建物の

電気設備工事を施工した実績を有すること（共同企業体の構成員としての実績は、出資比率が20%以上のものに限る。）。

なお、当該実績が平成13年12月25日以降に完成した防衛省発注機関（契約担当官等が属する防衛省本省の内部部局、防衛大学校、防衛医科大学校、防衛研究所、統合幕僚監部、陸上幕僚監部、海上幕僚監部、航空幕僚監部、情報本部、防衛監察本部、地方防衛局並びに統合幕僚長及び陸上幕僚長、海上幕僚長又は航空幕僚長の監督を受ける陸上自衛隊、海上自衛隊及び航空自衛隊の部隊及び機関並びに防衛装備庁をいう。以下同じ。）（旧防衛施設局及び旧防衛施設支局を含む。）の発注した工事に係るものにあつては施工成績評定通知書又は工事成績評定通知書の評定点合計（以下「評定点合計」という。）が65点未満のものを除く。また、実績が工事成績相互利用登録発注機関が発注した工事で工事成績評定相互利用対象工事に該当するものである場合は、工事成績の評定点が65点未満のものを除くこと。

地方防衛局等または工事成績相互利用登録機関が発注した工事に該当するものがなく、鹿児島県が発注した工事に該当するものである場合は、67点未満のものを除く。

- (6) 次の基準を全て満たす監理技術者又は主任技術者（以下「監理技術者等」という。）を当該工事に専任で配置できること。ただし、建設業法第26条第3項に該当しない工事の場合については専任を必要としない。

ア 1級電気工事施工管理技士又は同等以上の資格を有する者である。

イ 平成15年度以降入札公告日までに、完成・引渡しを完了した工事のうち、鉄骨造、鉄筋コンクリート造又は鉄骨鉄筋コンクリート造で、延べ面積450㎡以上／棟の新設建物の電気設備工事を施工した実績を有する者である（原則、着工から完成まで従事している。）。

なお、当該実績が平成13年12月25日以降に完成した防衛省発注機関（旧防衛施設局及び旧防衛施設支局を含む。）の発注した工事に係るものにあつては、評定点合計が65点未満のものを除く。また、実績が工事成績相互利用登録機関が発注した工事で工事成績評定相互利用対象工事に該当するものである場合は、工事成績の評定点が65点未満のものを除く。

地方防衛局等または工事成績相互利用登録機関が発注した工事に該当するものがなく、鹿児島県が発注した工事に該当するものである場合は、67点未満のものを除く。

ウ 監理技術者にあつては、監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を有する者である。

- (7) 一般競争参加資格確認申請書（以下「申請書」という。）及び競争参加資格確認資料（以下「技術資料」という。）の提出期限の日から開札の時点までの期間に、熊本防衛支局長から「工事請負契約等に係る指名停止等の措置要領について（通達）」（防整施（事）第150号。28. 3. 31）に基づく指名停止を受けていないこと。

- (8) 熊本防衛支局が発注した「電気工事」のうち、平成28年4月から平成30年3月までに完成・引渡しを完了した工事の施工実績がある場合においては、当該工事に係る評定点合計の平均が65点以上であること。

- (9) 上記1に示した工事に係る設計業務等の受注者（受注者が共同体である場合においては、当該共同体の各構成員をいう。以下同じ。）又は当該受注者と資本若しくは人事面において関連がある建設業者でないこと。
- (10) 入札に参加を希望する者の間に資本関係又は人的関係がないこと。
- (11) 鹿児島県内に建築業法の許可（当該工事に対応する建設業種）に基づく本店、支店又は営業所が所在すること。
- (12) 都道府県警察から暴力団関係業者として防衛省が発注する工事等から排除するよう要請があり、当該状態が継続している有資格者でないこと。

### 3 総合評価に関する事項

#### (1) 評価項目

本工事の評価項目は、次のアからウとし、詳細は入札説明書による。

- ア 企業の技術力
- イ 施工体制
- ウ その他（ペナルティ）

#### (2) 総合評価の方法

- ア 標準点 要求要件を満たしている者に標準点を100点を付与する。
- イ 加算点 技術資料の内容に応じ、(1)ア及びウの評価項目ごとに評価を行い、得られた「評価点数の合計値」が、予決令第79条の規定に基づいて作成された予定価格（以下「予定価格」という。）の制限の範囲内の入札参加者のうち、最も高い者に20点の加算点を付与する。  
その他の者は「評価点数の合計値」に応じ按分して求められる点数を加算点として付与する。

ウ 施工体制評価点 「施工体制評価点」は(1)イの項目について最高30点の評価点を付与する。ただし、事前調査により、施工体制が十分に確保されない場合又は契約の内容に適合した履行がされないおそれがある場合若しくは品質確保のための施工体制及びその他の施工体制が著しく確保されないおそれがある場合、減点を行う。

エ 価格と価格以外の要素がもたらす総合評価は、入札参加者の「標準点」と「加算点」及び「施工体制評価点」の合計を、当該入札者の入札価格で除して得た数値（以下「評価値」という。）をもって行う。

#### (3) 施工体制の確認のため、ヒアリングを行う。

#### (4) 落札者の決定方法

ア 入札参加者は、価格及び(1)アからウをもって入札に参加し、次の各要件に該当する者のうち、評価値の最も高い者を落札者とする。

(ア) 入札価格が予定価格の制限の範囲内である。

(イ) 評価値が、標準点を予定価格で除した数値（以下「基準評価値」という。）を下回らない。

ただし、落札者となるべき者の入札価格によっては、その者により当該契約の内容に適合した履行がされないおそれがあると認められるとき又はその

者と契約を締結することが公正な取引の秩序を乱すこととなるおそれがあるとして著しく不相当であると認められるときは、予定価格の制限の範囲内で、発注者の定める最低限の要求要件を全て満たして入札した他の者のうち、評価値が最も高い者を落札者とすることがある。

なお、評価値が基準評価値を上回っていても、減点評価により技術評価点が標準点（100点）を下回る場合は、落札者の対象外とする。

イ 上記の場合において、評価値の最も高い者が二者以上あるときは、くじへ移行する。くじの実施方法等については、発注者から指示をする。

- (5) その他 受注者の責により入札時の(1)アの評価内容が実施されていないと判断された場合は、ペナルティとして、工事成績評定を減ずることとし、1工事最大5点減ずる。

#### 4 入札手続等

##### (1) 担当部局

〒862-0901 熊本県熊本市東区東町1-1-11  
熊本防衛支局 総務課 契約審査係  
TEL 096-368-2174 (内線360)  
FAX 096-368-0512

##### (2) 入札説明書の交付期間等

ア 交付期間 平成30年10月12日から平成30年11月29日まで行政機関の休日に関する法律（昭和63年法律第91号）第1条第1項に規定する行政機関の休日を除く。）の毎日、午前9時から午後6時まで。

イ 交付場所 防衛施設建設工事電子入札システムセンター  
<http://www.dfeg.mod.go.jp/>

ウ 交付方法 全て、電子データで交付を行う。

文書類 : PDF (Acrobat 9形式以下)

図面類 : PDF (Acrobat 9形式以下)

数量表等 : Excel (Ver. 2010形式以下)

申請書類 : Word (Ver. 2010形式以下) 又は一太郎 (Ver. 2011形式以下)

なお、標記以外の形式による提供は一切行わない。

エ 使用条件 ダウンロードした資料の取扱いに関する利用規則に同意する。

オ その他 通信環境の不具合等のため、希望する者は電子情報の提供を依頼することができる。

この場合、(1)へ事前にその旨の連絡を入れると共に「図面データの取扱いに関する同意事項」（記入・押印済みのもの）、データを保存するために必要な、CD-R（未使用に限る。）1枚及び着払いのラベル（宅配業者の場合）又は切手（日本郵便の場合）を貼付した返信用の封筒を同封し、送付する。

なお、配送によるもの以外の対応は行わない。また、この対応により被った不利益や損害については、一切保障しない。

※「図面データの取扱いに関する同意事項」の書式については、九州防衛局のホ

ホームページより入手可能である。

([http://www.mod.go.jp/rdb/kyushu/kensetsu/kyoutuu/syoshiki/00\\_syoshikiindex.htm](http://www.mod.go.jp/rdb/kyushu/kensetsu/kyoutuu/syoshiki/00_syoshikiindex.htm))

(3) 申請書及び資料の提出期限等

ア 提出期限 平成30年10月25日 午後5時

イ 提出方法 電子入札システムにより提出する。ただし、申請書及び技術資料が3MBを超える場合の提出方法等については、入札説明書による。紙入札方式による場合は、(1)に持参又は郵送（書留郵便に限る。）若しくは託送（書留郵便と同等のものに限る。）（以下「郵送等」という。）する。

(4) 見積の提出期限等

ア 提出期限 平成30年10月29日 午後5時

イ 提出方法 (1)に持参又は郵送等により提出する。

(5) 入札書の受領期限等

ア 受領期限 平成30年11月28日 正午

イ 提出方法 電子入札システムにより提出する。紙入札方式による場合は、(1)に持参することとし、郵送等による提出は認めない。

(6) 開札の日時及び場所

ア 日時 平成30年11月30日 午前11時

イ 場所 熊本防衛支局 会議室

5 その他

(1) 手続において使用する言語及び通貨 日本語及び日本国通貨に限る。

(2) 入札保証金 免除。

(3) 契約保証金 納付（保管金の取扱店 日本銀行熊本市内代理店）。ただし、利付国債の提供（保管有価証券の取扱店 日本銀行熊本市内代理店）又は金融機関若しくは保証事業会社の保証（取扱官庁 熊本防衛支局）をもって契約保証金の納付に代えることができる。また、公共工事履行保証証券による保証を付し、又は履行保証保険契約の締結を行った場合は、契約保証金を免除する。

なお、契約保証金の額、保証金額又は保険金額は請負代金額の10分の1（予決令86条の調査を受けた者との契約については請負代金額の10分の3）以上とする。

(4) 見積の提出期限までに見積が提出されない場合は、入札心得書第8条第1項第3号の規定に該当するものとし、その者のした入札を無効とする。

(5) 入札の無効 次に掲げる入札は無効とする。

ア 本公告に示した競争参加資格のない者のした入札

イ 申請書又は技術資料に虚偽の記載をした者の入札

ウ 入札に関する条件に違反した入札

(6) 提出された見積の金額と入札時に提出された工事費内訳明細書の金額との間に著しい乖離が認められ、開札後に再度ヒアリングを実施し、その妥当性が確認できない場合は、入札心得書第8条第1項第3号の規定に該当するものとして、その者の行った入札を無効とすることがある。

(7) 配置予定の監理技術者等の確認 落札者決定後、発注者支援データベース・シス

テム等により配置予定の監理技術者等の専任制違反の事実が確認された場合、契約を結ばないことがある。

なお、種々の状況からやむを得ないものとして承認された場合の外は、配置予定の監理技術者等の変更を認めない。

- (8) 落札者となるべき者の入札価格が予決令第85条の規定に基づいて作成された基準（以下「調査基準価格」という。）を下回っている場合は、予決令第86条の調査（以下「低入札価格調査」という。）を行うので、協力しなければならない。
- (7) 専任の監理技術者の配置が義務付けられている工事において、調査基準価格を下回った価格をもって契約する場合においては、監理技術者とは別に同等の要件を満たす技術者の配置を求めることがある。
- (8) 入札後、契約を締結するまでの間に、都道府県警察から暴力団関係者として防衛省が発注する工事等から排除するよう要請があり、当該状態が継続している有資格者とは契約を行わない。
- (9) 低入札価格調査を受けた者との契約については、前払金の割合を請負代金額の10分の2以内とする。
- (10) 契約書作成の要否 要
- (11) 関連情報を入手するための照会窓口 上記4(1)に同じ。
- (12) 競争参加資格の級別の格付を受けていない者の参加 上記2(2)に掲げる競争参加資格の級別の格付を受けていない者も上記4(3)により申請書及び技術資料を提出することができるが、競争に参加するためには、開札の時点において、当該資格の格付を受け、かつ、競争参加資格の確認を受けていなければならない。
- (13) 詳細は、入札説明書による。